

神戸低侵襲がん医療センター新築工事 CM業務

プロジェクトの基本情報	プロジェクト名称	神戸低侵襲がん医療センター新築工事CM業務
	所在地	兵庫県神戸市中央区港島中町8丁目5番1号
	完了時期	2013年3月
	種別1	■新築
	種別2	■非住宅建築
CM業務委託者に関する情報	CM業務委託者名	神戸がん医療推進合同会社
	種別	■その他(SPC)
	CM業務委託者の所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町5丁目5番2号
応募者に関する情報	応募者(法人)名	日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社
	種別	■CM専門会社
	応募者(法人)の所在地	大阪府大阪市中央区北浜4-5-33
CMRの参画時期	業務契約期間	2011年10月～2013年3月
		■基本設計段階、■実施設計段階、 ■工事発注段階、■工事段階、■完成後
CMRの選定方法		■ヒアリング等の審査
設計と施工の発注形式		■設計施工一貫
設計者の選定方法		■特命
工事の発注区分		■ゼネコン一括
請負契約の形式		■総価一式
施工者の選定方法		■特命



神戸低侵襲がん医療センター外観

【プロジェクトの概要】

本プロジェクトは、がん医療に特化した最先端がん医療専門施設の建設であり、放射線と化学療法を組み合わせた「**切らずに治す**」低侵襲がん治療に特化したコンセプトを掲げる医療施設の建設は国内初となる。

特色は、**最新鋭の放射線治療装置であるサイバーナイフシステム、トモラピーシステム、トゥルービームシステムの組み合わせで3台を併設**。病床数は80床(緩和ケア病床20床、特別個室10室)。アンギオ1室(血管造影検査室)、化学療法室20室、CTをはじめとするX線撮影装置、MRI、PET-CTなどの画像診断機器も設置された。病棟は、3階屋上庭園を囲むL型プラン。最寄駅であるポートライナー「市民広場駅」からの連絡ブリッジも同時に整備を行った。

発注者は民間8社と公的機関の出資によるSPC管理会社。事業スキームは、20年間のBOT方式で行われた。

【建物概要】

敷地面積	: 8,546.06 m ²	構造規模	: RC造 地上5階	建物高さ	: 21.15m (最高高さ)
建築面積	: 3,626.53 m ²	地業	: コンクリート杭 (50~56m)		
延べ面積	: 9,510.05 m ²	外壁	: コンクリート打放し下地補修 タイル		
用途	: 病院80床		剥離防止下地調整の上磁器50角張、吹付タイル		

【プロジェクトの取り組み体制】

CM導入の背景は、**設計施工一貫方式**を採用したこと、及びSPCの出資会社に設計施工者を含めたため、**コンプライアンス上の説明責任・透明性・品質の確保**が求められCM方式を導入することになった。CMチーム編成に際しては、医療経営コンサルタント資格者を有する**医療施設整備経験者をチームヘッド**に据え、**CMコアチームがプロジェクト初期からの一貫したマネジメント業務を遂行**したことにより、プロジェクト当初からの発注者の要望事項や協議経緯を確実に理解でき、設計段階並びに施工段階において、ブレのない整合性のとれた価値判断基準を維持することに繋がった。

【プロジェクトの目標と達成度】

品質・コスト・スケジュールの各テーマにおいて具体的な目標設定を行い、各目標を達成した。

設計施工段階	達成度
1.【品質】要求性能の実現 ・多段階にわたる設計レビューによる「品質の高い設計」 ・要求性能実現に向けての品質管理	発注者要望の高品質な設計・施工の実現
2.【コスト】プロジェクト全体を通じた工事費の適正化 ・透明性の高い工事請負金額の確定 ・工事段階での設計変更による追加工事費の抑制	追加工事費の8.9%縮減等コストミナム実現
3.【スケジュール】開院スケジュールの厳守 ・開院スケジュールの実現に向けたマスタースケジュール管理 ・設計・施工工期の調整	開院スケジュールの厳守と工程遅延の最小化

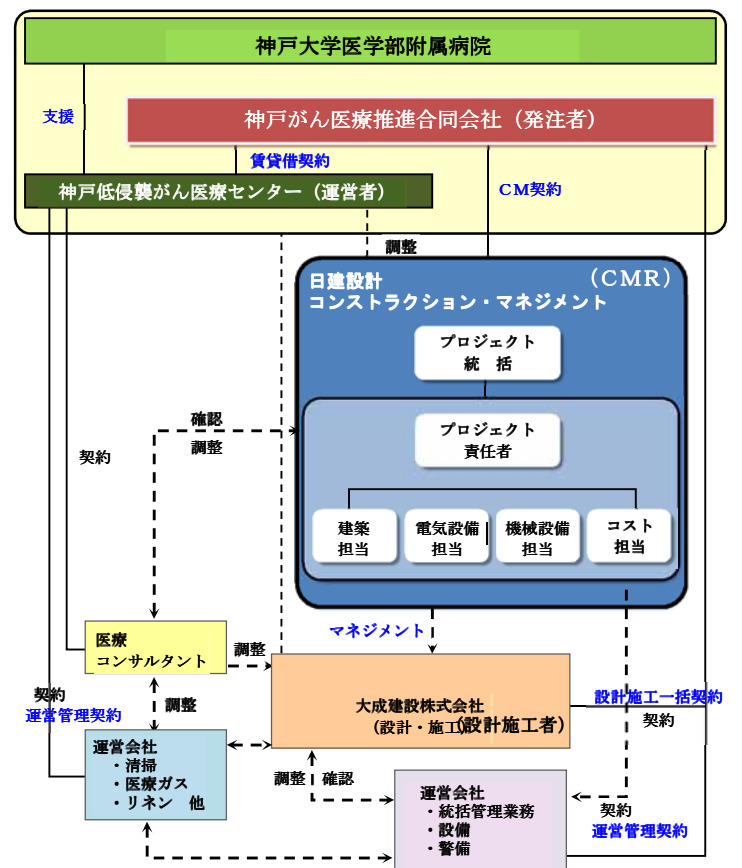
【建設生産システムへの関与】

設計施工一貫方式のメリット・デメリットを分析し、生産性や業務の質に与えた影響を計った。

<ul style="list-style-type: none"> 社内技術系職員の不足を補いたい 業務のスリム化を図りたい 	発注者業務の量的補完
<ul style="list-style-type: none"> 工物品質リスクを減少したい 監督・検査業務の充実を図りたい 	発注者業務の質的補完
<ul style="list-style-type: none"> 価格の妥当性をより正確に判断したい 発注プロセスの透明性を確保したい 	コスト構成の透明化 (アカウントビリティの確保)
<ul style="list-style-type: none"> コスト縮減、工期短縮を実現したい 請求書の技術的審査を徹底させたい 品質管理、検査に関わる責任を明確化したい 	マネジメントの強化 (プロジェクトの省力化)

【プロジェクト組織図】

※地主：神戸市



治療室1. 定位放射線治療の放射線治療装置サイバーナイフ



治療室2. X線によるCT撮影装置と放射線照射装置が一体化したトモセラピー



治療室3. 国内で初めて導入した最新鋭の放射線治療装置トゥルービーム



PET-CT



血管造影検査室



屋上庭園